

■ 基準病床数算定式に基づく試算表 (H30.11.19現在)

参考資料2

※ 病床利用率は、上段が国告示を使用(療養0.90、一般0.76)し、下段がH29病床機能報告の補正值(療養0.93、一般0.81)を使用。

医療圏	第7次計画 基準病床数(H31.4.1) (基準病床数算定式に 基づく試算)		<加算1> 療養病床入院 患者(医療区 分1)の40% ※病床数換算	第7次計画 基準病床数(H31.4.1) (基準病床数算定式に 基づく試算)		既存病床 数 (H30.4.1)	第7次計画 基準病床 数 (当初) (H30.4.1)	既存病床数 (H30.3.31) - 第7次計画 基準病床数 (H30.3.31)	第7次計画基準病床数 (H30.3.31) - 第7次計画基準病床数(H 31.3.31)		第7次計画基準病床数 (H31.3.31) - 既存病床数(H30.4.1)	
	2018.1.1 人口	2020人口 推計		2018.1.1 人口	2020人口 推計				2018.1.1 人口	2020人口 推計	2018.1.1 人口	2020人口 推計
				①	②				③	④=②-③	⑤=③-①	⑥=②-①
川崎北部	3,796	4,318	183	3,979	4,501	4,362	3,662	700	△ 317	△ 839	383	△ 139
	3,585	4,082	183	<u>3,768</u>	4,265	4,362	3,662	700	<u>△ 106</u>	<u>△ 603</u>	<u>594</u>	<u>97</u>

- 主に高齢者が増加し患者数が増えるため、基準病床数が増加する。
- 2020年の人口推計や、国告示の病床利用率を使うと、基準病床数の増加数はより大きくなる。
- 最低でも106床基準病床数は増加する。

仮に来年度も既存病床数に増減がない場合、川崎北部での過剰な病床数

■ 基準病床数算定に利用した病床利用率

<国告示 病床利用率(病床利用率の下限)>

療養	一般
0.90	0.76

<病床機能報告 病床利用率>

川崎北部	H29病床利用率		H29採用病床利用率		H28病床利用率		H28採用病床利用率		H29 - H28	
	療養	一般	療養	一般	療養	一般	療養	一般	療養	一般
	0.93	0.74	0.93	0.81	0.93	0.80	0.93	0.80	0.00	0.01

※出典:平成29年度病床機能報告集計結果 H29病床利用率=年間在棟延べ患者数×100/稼働病床数(平成29年7月1日時点)×365日

■ 参考 人口と病床利用率の影響について

① 昨年度と同じ病床利用率で試算した場合(人口の変化のみで試算)

3,803床(最新の人口のみを使用した結果、現在の基準病床数3,662床から141床増加する。)

⇒ 人口増により入院者数・受療者数が増加し基準病床数が増加する。

② 昨年度と同じ人口で試算した場合(病床利用率の変化のみで試算)

3,628床(最新の病床利用率のみを使用した結果、現在の基準病床数3,662床から34床減少する。)

⇒ 一般病床の利用率が0.1上がるため、基準病床数が減少する。

平成30年11月19日

川崎北部地域の現状

人口・患者数等推移 病床利用率等の状況

県内の人口と入院患者の推移

都道府県 14神奈川県

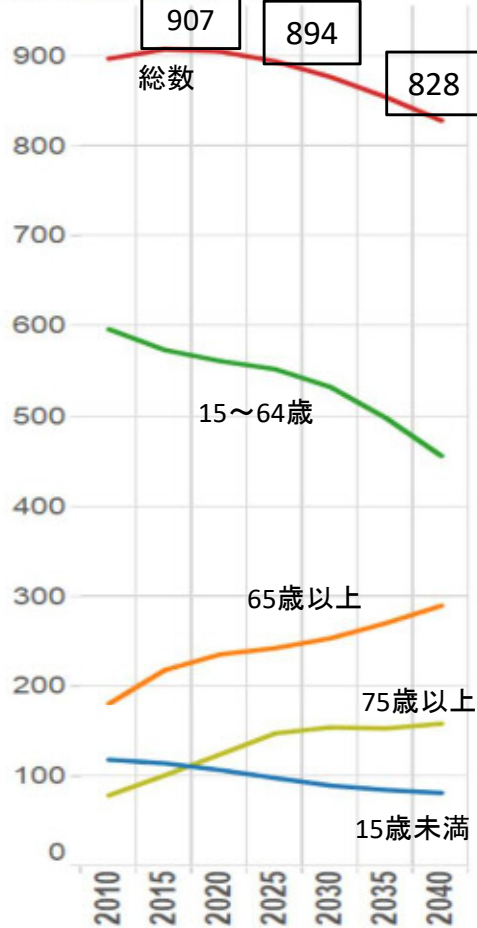
2次医療圏 すべて

市区町村 すべて

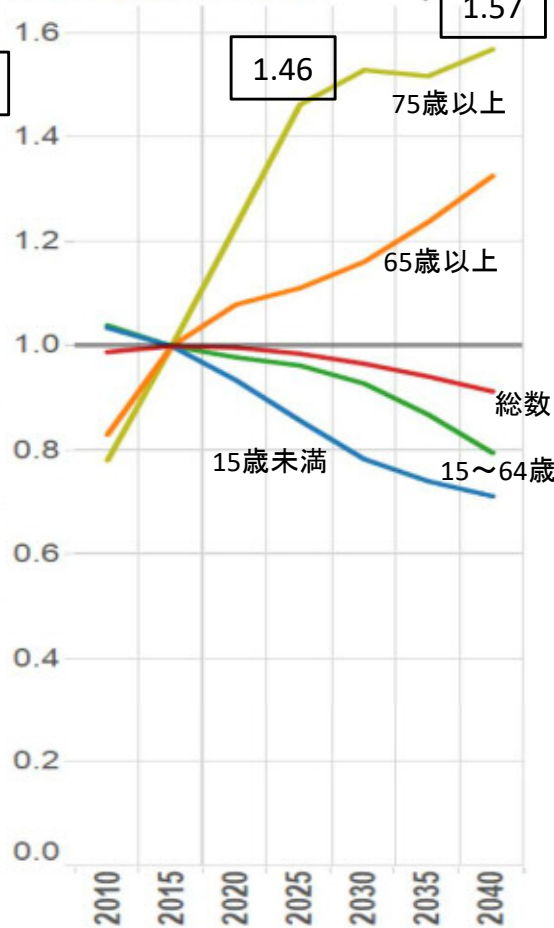
人口と入院患者数

傷病 xALL総数

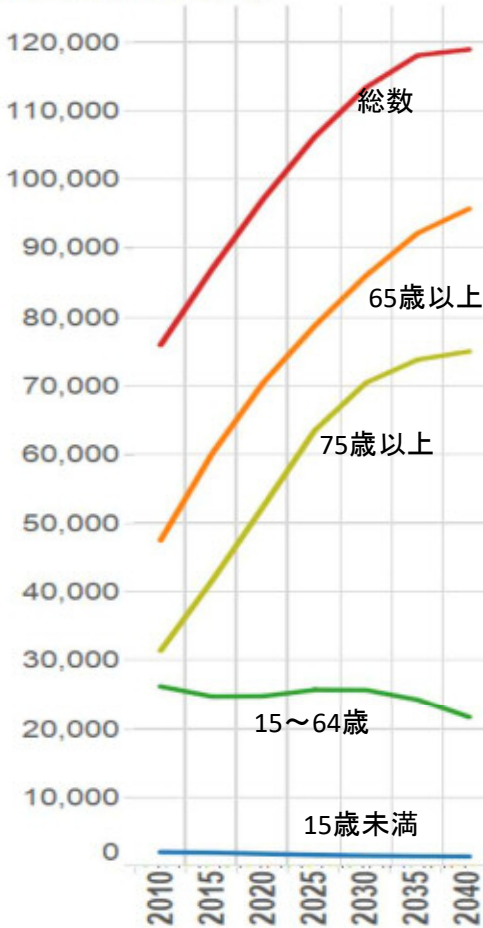
年齢区分別人口(万人)



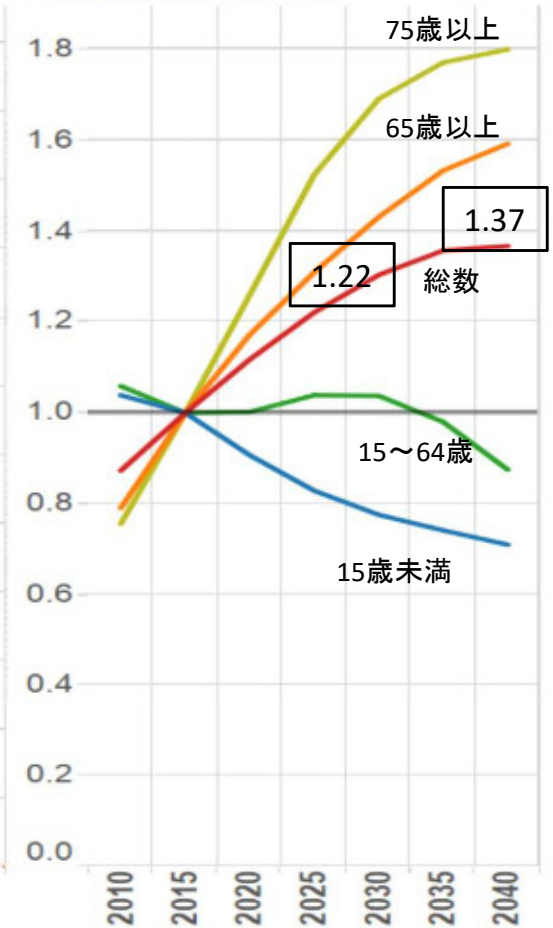
変化率(2015年基準)



1日入院患者数(人)



変化率(2015年基準)



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

※人口:性年齢階級別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)

※推計患者数:性年齢階級別人口×性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

- ・人口は年々減少するが、65歳以上の高齢者は、年々増え続ける。特に75歳以上の高齢者の増加率が高く、2025年には、2015年比約1.46倍、2040年には約1.57倍に増加する。
- ・患者数は、2025年には、2015年比1.22倍に増加し、2040年にも1.37倍に増加する。65歳未満の患者は2030年を機に減少に転じる。

川崎北部地域における人口と入院患者の推移

都道府県 14神奈川県

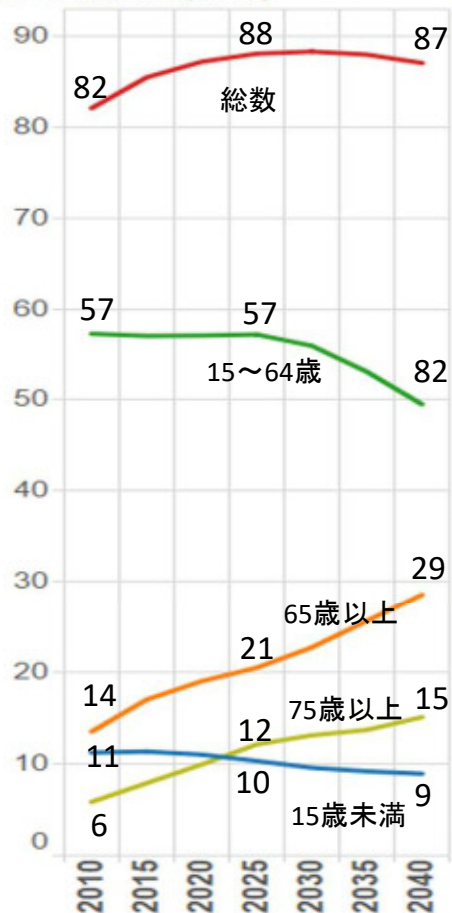
2次医療圏 1404川崎北部

市区町村 すべて

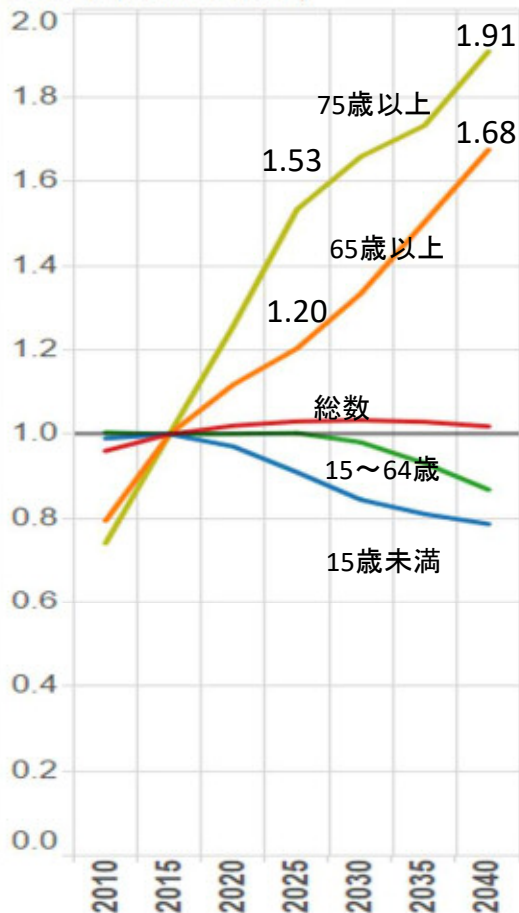
人口と入院患者数

傷病 xALL総数

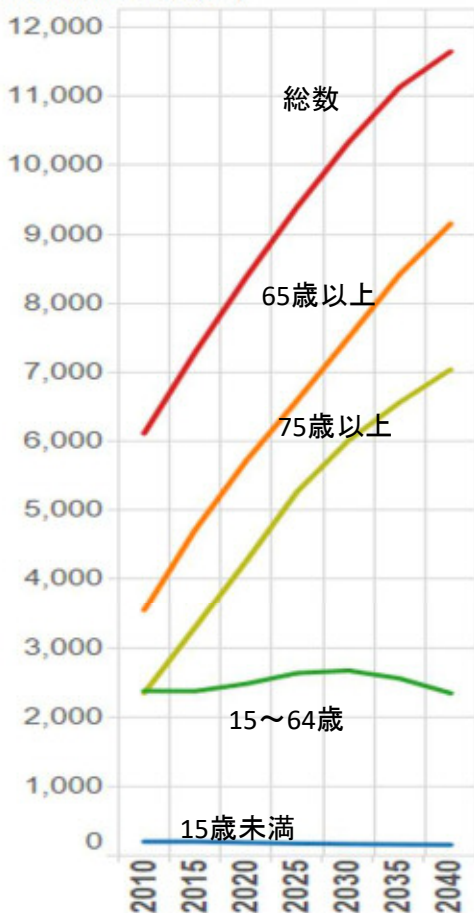
年齢区分別人口(万人)



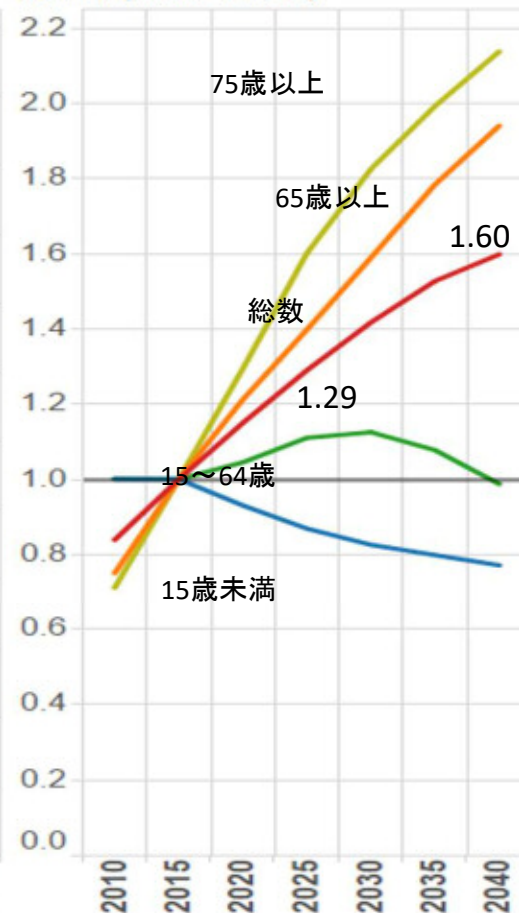
変化率(2015年基準)



1日入院患者数(人)



変化率(2015年基準)

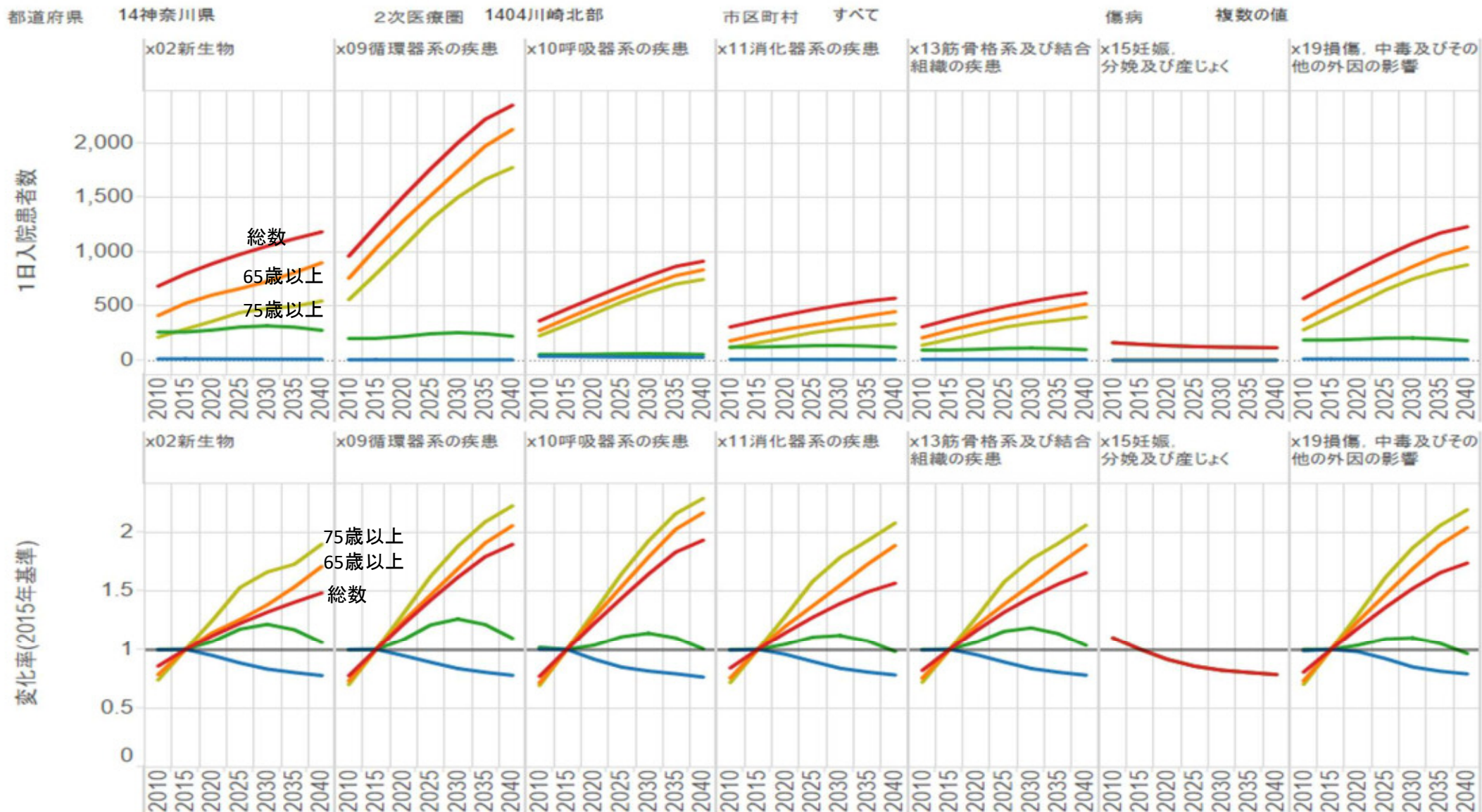


H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

※人口:性年齢階級別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所)
 ※推計患者数:性年齢階級別人口×性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

・人口は2030年をピークに減少するが、65歳以上の高齢者は年々増え続け、2015年比で2025年は1.20倍、2040年は1.68倍となる。特に75歳以上は2015年比で2025年は1.53倍、2040年は1.91倍となる。
 ・患者数は、2025年には2015年比1.29倍に増加し、2040年にも1.60倍に増加する。特に65歳以上、75歳以上の患者は増え続け、65歳未満の患者は2030年までは微増であるが、その後年々減少する。

川崎北部地域における疾患別の入院患者の推移

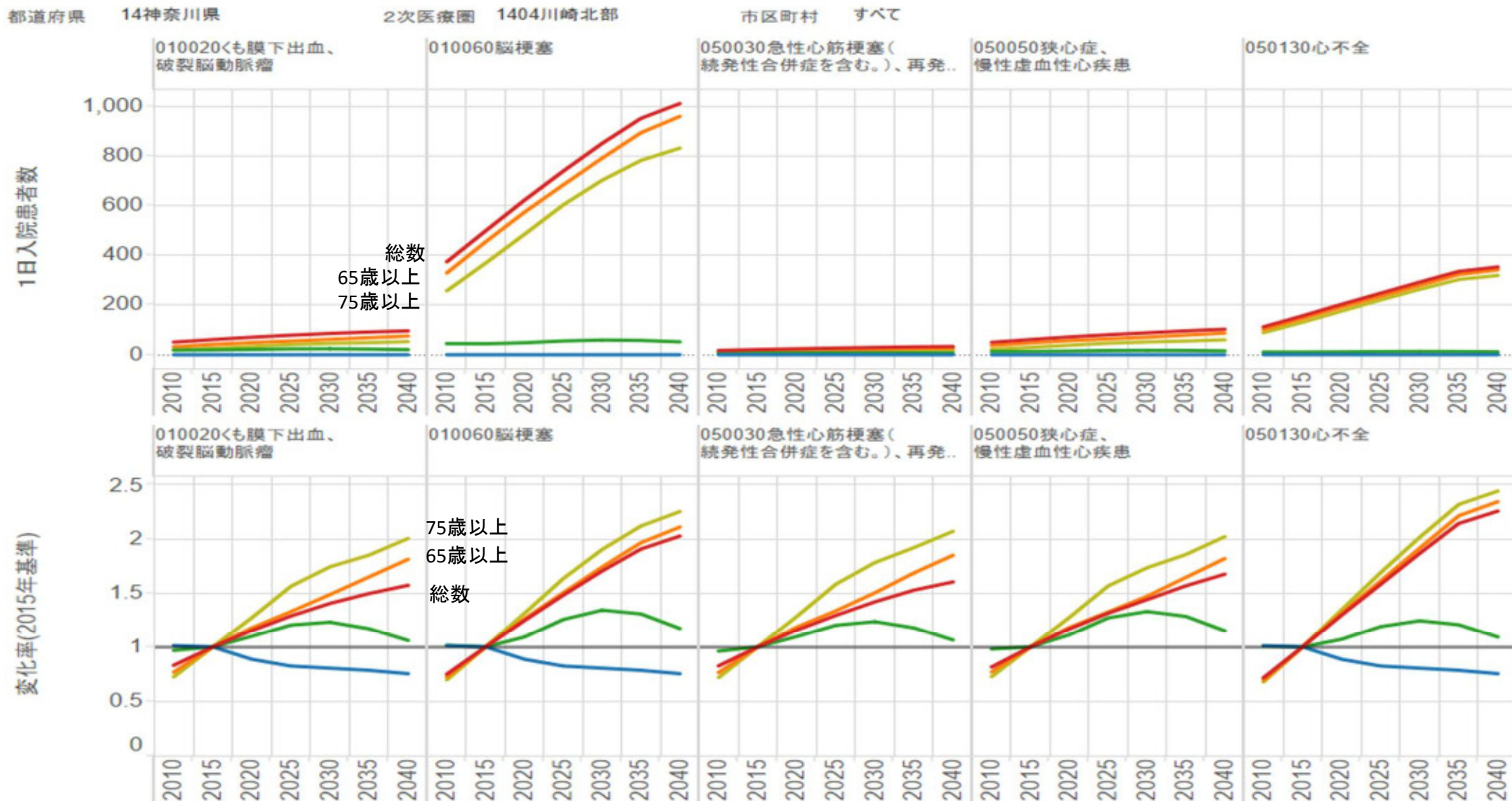


H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率 (H26年患者調査)

・分娩を除き、すべての疾患で増加し続ける。循環器系、呼吸器系の疾患の増加率が高い。

川崎北部地域における疾患別の入院患者の推移(循環器系)

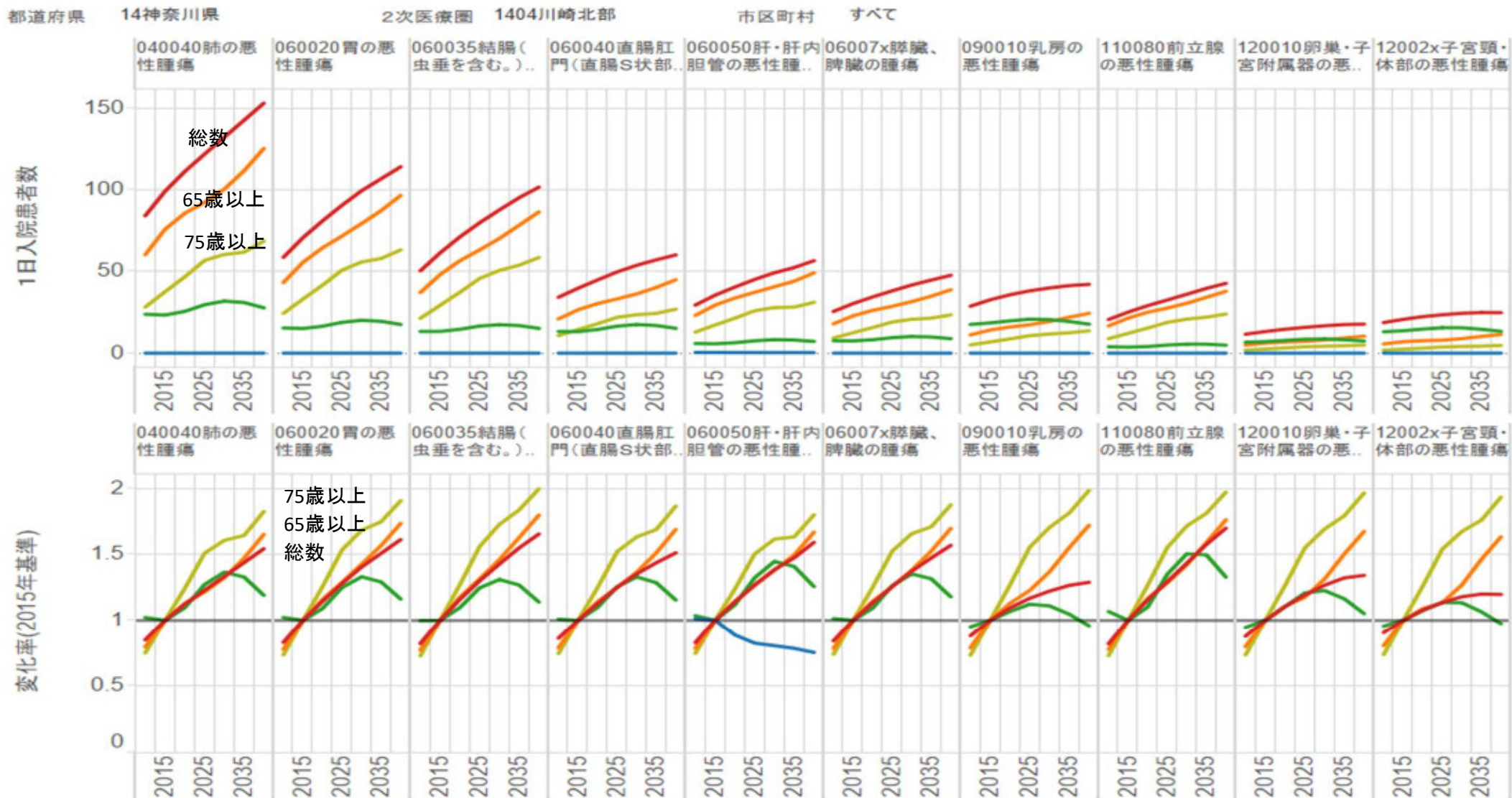


H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

※推計患者数:性年齢階級別人口×性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

・2025年には全体的に増加するが、特に脳梗塞、心不全の増加率が高い。

川崎北部地域における疾患別の入院患者の推移(がん)



H26患者調査-入院受療率(全国)/社人研人口推計に基づく簡易版入院患者推計 - kishikaw@ncc.go.jp 総数/15歳未満/15-64歳/65歳以上/75歳以上(再掲)

※推計患者数: 性年齢階級別人口 × 性年齢階級別受療率(H26年患者調査)

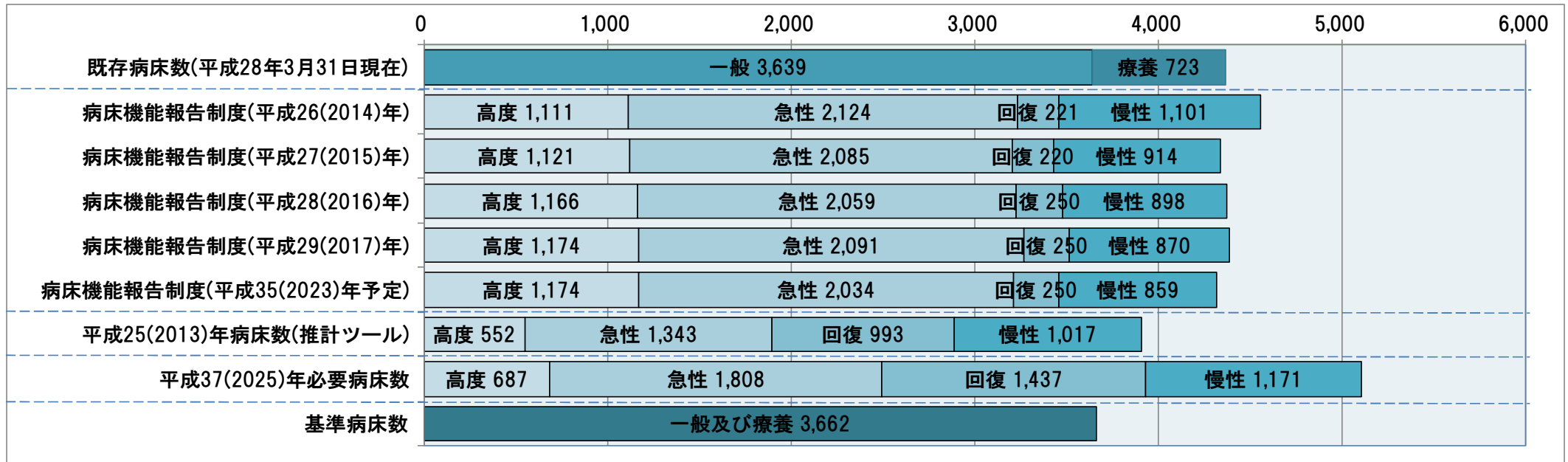
・2025年には全体的に増加するが、胃がん、大腸がん、肝がん、すい臓がん、前立腺がんの増加率が高い。

川崎市における要介護者・要支援者等推計・介護施設等の状況

利用者数等(人)	2015年度	2016年度	2017年度 (見込)	2018年度 (推計)	2019年度 (推計)	2020年度 (推計)	2025年度 (推計)
要支援・要介護認定者数(65歳以上)	48,223	49,942	52,239	54,700	57,163	59,641	76,155
サービス利用者数(人)	41,252	45,291	44,504	47,940	50,976	54,064	
居宅等サービス利用者数	30,969	30,352	28,900	31,495	33,533	35,741	
地域密着型サービス利用者数	4,181	8,649	9,191	9,880	10,601	11,412	
施設サービス利用者数	6,103	6,291	6,413	6,565	6,842	6,911	
介護保険施設・特定施設等整備数(定員)	2015年度	2016年度	2017年度 (見込)	2018年度 (計画)	2019年度 (計画)	2020年度 (計画)	
特別養護老人ホーム	4,438	4,544	4,663	4,901	4,901	5,131	
介護老人保健施設	2,281	2,281	2,281	2,281	2,281	2,281	
介護療養型医療施設	343	303	255	255	255	255	
介護専用型特定施設	933	1,054	1,054	1,134	1,134	1,134	
混合型特定施設	6,514	6,514	6,562	6,562	6,642	6,722	
認知症グループホーム	1,819	1,891	2,053	2,053	2,242	2,431	

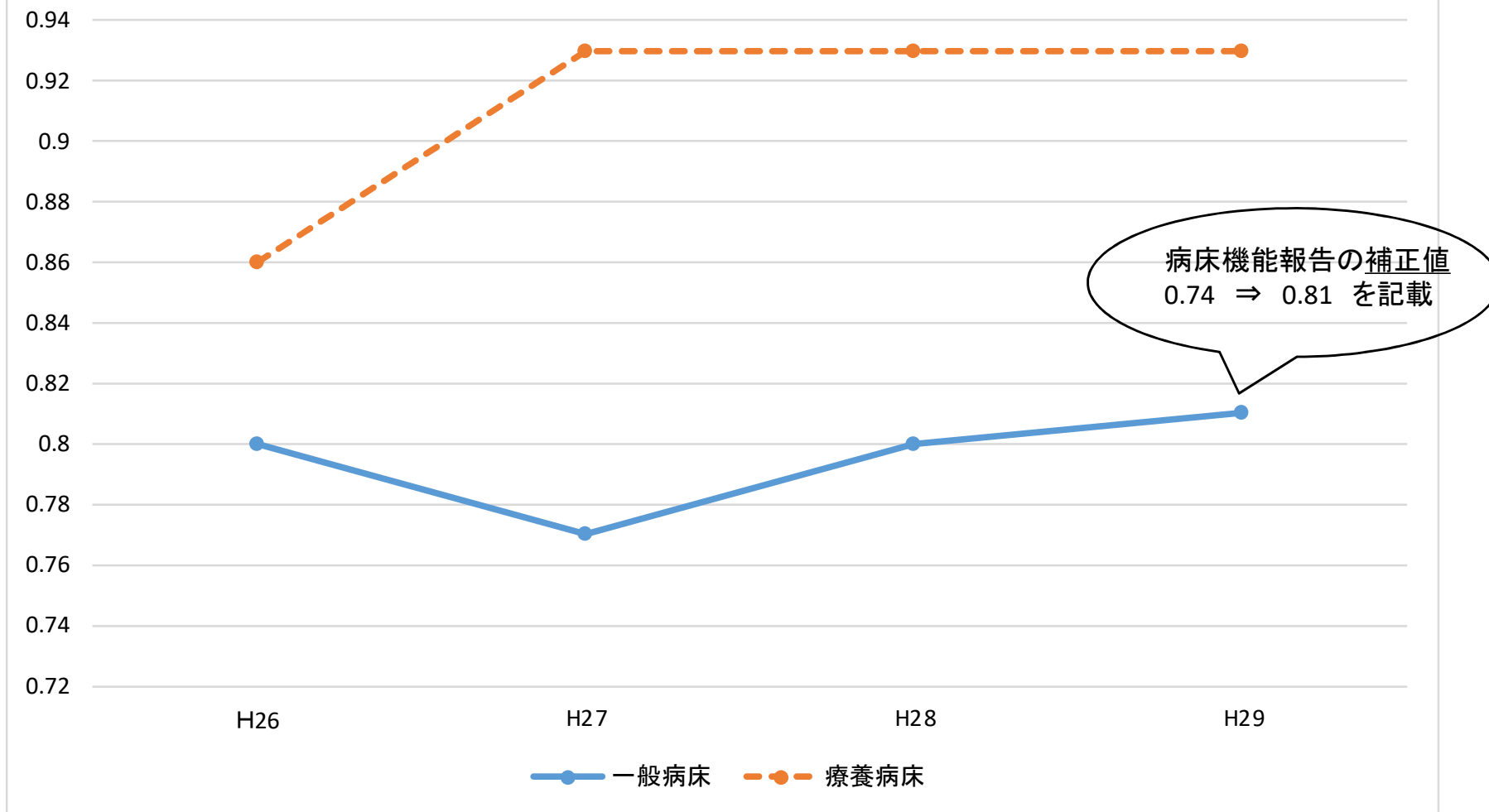
<出典> 神奈川県高齢者保健福祉計画

川崎北部における病床数(全体)



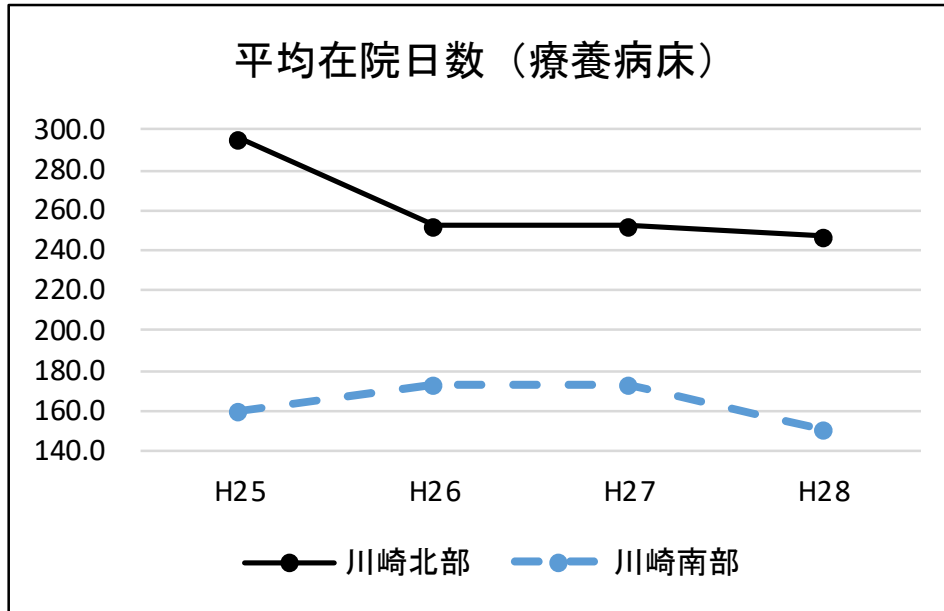
現状	区分	一般病床				療養病床	合計	備考
		高度急性期	急性期	回復期	小計	慢性期	合計	
	既存病床数(平成30年3月31日現在)	3,639				723	4,362	H19.1.1許可以前の有床診療所を含めていないことや補正の関係から病床機能報告等の結果と数値が異なる
	区分	高度急性期	急性期	回復期	小計	慢性期	合計	
	病床機能報告制度(平成26(2014)年)	1,111	2,124	221	3,456	1,101	4,557	現状把握の指標として用いられるとされている数値。報告率94.2%(休棟中等6床を除く)
	病床機能報告制度(平成27(2015)年)	1,121	2,085	220	3,426	914	4,340	同上。報告率97.6%(休棟中等92床を除く)
	病床機能報告制度(平成28(2016)年)	1,166	2,059	250	3,475	898	4,373	同上。報告率96.6%(休棟中等39床を除く)
	病床機能報告制度(平成29(2017)年)	1,174	2,091	250	3,515	870	4,385	同上。報告率94.8%(休棟中等26床を除く)
	病床機能報告制度(平成35(2023)年予定)	1,174	2,034	250	3,458	859	4,317	同上。報告率94.8%(休棟中等26床、介護施設等68床を除く)
	平成25(2013)年病床数(推計ツール)	552	1,343	993	2,888	1,017	3,905	将来の必要病床数の推計方法と同じ計算方法で算出した平成25(2013)年の病床数
将来	平成37(2025)年必要病床数	687	1,808	1,437	3,932	1,171	5,103	
参考	基準病床数						3,662	保健医療計画(第7期)の数値 10

川崎北部地域 病床利用率の推移

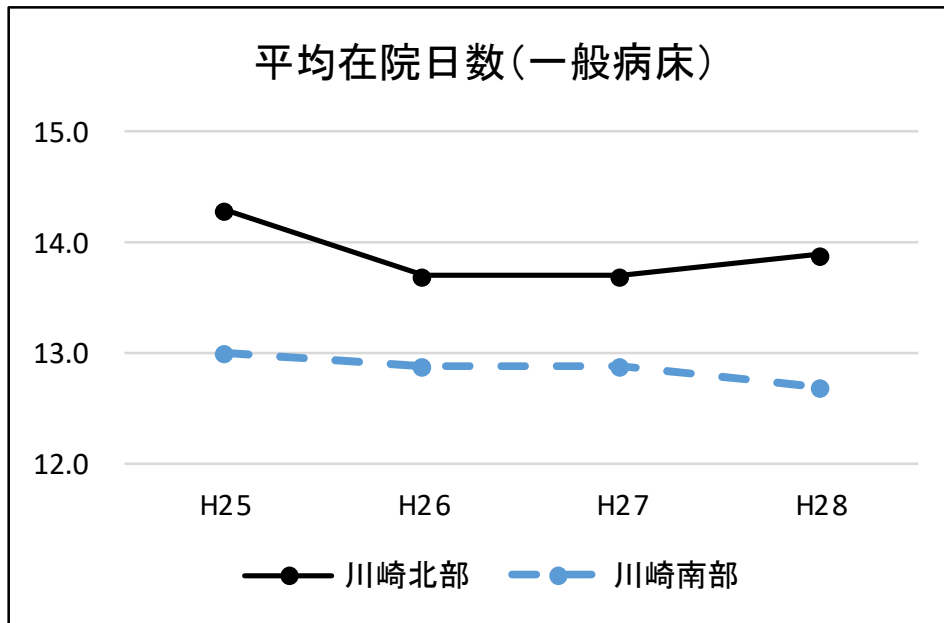


	H26	H27	H28	H29
一般病床	0.8	0.77	0.80	0.81
療養病床	0.86	0.93	0.93	0.93

○療養病床・一般病床ともに比較的安定して推移



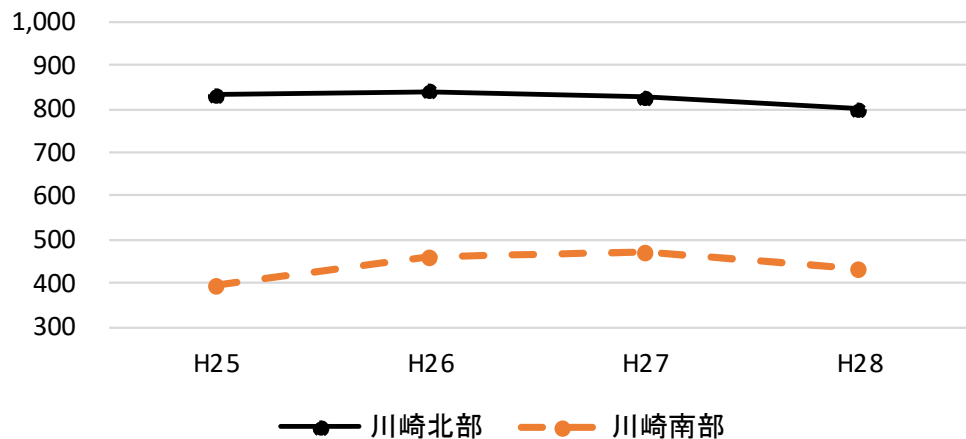
療養病床	H25	H26	H27	H28
川崎北部	295.5	252.3	252.3	246.7
川崎南部	159.9	173.4	173.4	151.2



一般病床	H25	H26	H27	H28
川崎北部	14.3	13.7	13.7	13.9
川崎南部	13.0	12.9	12.9	12.7

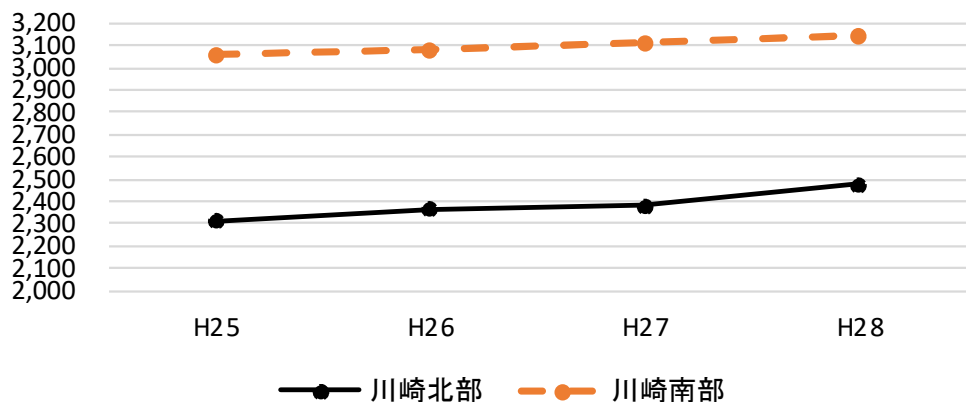
○川崎北部の一般病床を除き、平均在院日数は短縮傾向にある。

平均在院患者数(療養病床)



療養病床	H25	H26	H27	H28
川崎北部	833	840	827	799
川崎南部	394	463	472	434

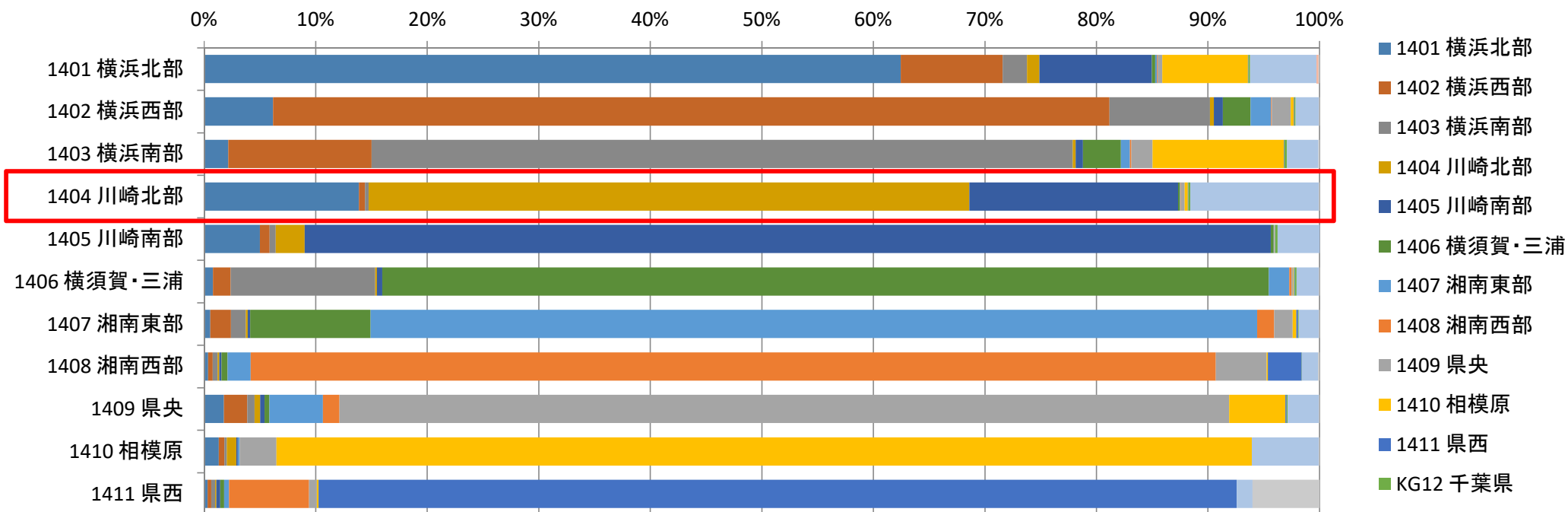
平均在院患者数(一般病床)



一般病床	H25	H26	H27	H28
川崎北部	2,314	2,366	2,384	2,480
川崎南部	3,064	3,076	3,113	3,145

○療養病床、一般病床ともに横ばい傾向

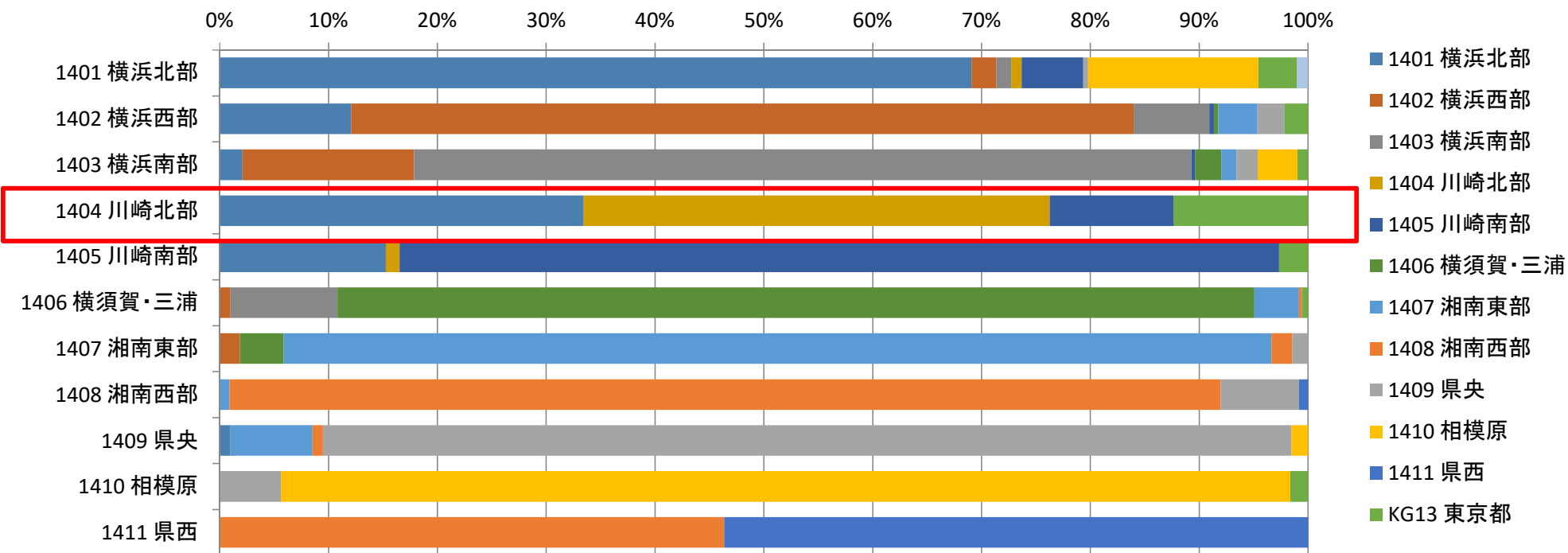
川崎北部における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:一般病床入院 7:1、10:1)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名																
負担者二次医療圏名	1401 横浜北部	1402 横浜西部	1403 横浜南部	1404 川崎北部	1405 川崎南部	1406 横須賀・三浦	1407 湘南東部	1408 湘南西部	1409 県央	1410 相模原	1411 県西	KG12 千葉県	KG13 東京都	KG19 山梨県	KG22 静岡県	総計	
1401 横浜北部	62.46%	9.14%	2.19%	1.11%	10.07%	0.31%	0.13%	0.06%	0.43%	7.66%	0.05%	0.17%	5.95%	0.17%	0.11%	95,026	
1402 横浜西部	6.19%	74.98%	8.99%	0.34%	0.81%	2.50%	1.82%	0.07%	1.69%	0.29%	0.04%	0.13%	2.09%	0.06%	0.06%	76,460	
1403 横浜南部	2.18%	12.84%	62.86%	0.27%	0.65%	3.40%	0.81%	0.14%	1.90%	11.75%	0.06%	0.22%	2.83%	0.11%	0.11%	87,234	
1404 川崎北部	13.89%	0.54%	0.33%	53.85%	18.70%	0.18%	0.05%	0.03%	0.34%	0.28%	0.05%	0.16%	11.54%	0.08%	0.08%	35,339	
1405 川崎南部	5.01%	0.87%	0.55%	2.60%	86.60%	0.25%	0.03%	0.03%	0.05%		0.03%	0.21%	3.78%			39,649	
1406 横須賀・三浦	0.79%	1.60%	12.95%	0.17%	0.47%	79.47%	1.83%	0.19%	0.14%	0.08%	0.06%	0.17%	2.01%	0.07%	0.07%	57,299	
1407 湘南東部	0.56%	1.86%	1.33%	0.17%	0.22%	10.80%	79.47%	1.52%	1.66%	0.33%	0.14%	0.07%	1.80%	0.07%	0.07%	44,356	
1408 湘南西部	0.36%	0.42%	0.45%	0.15%	0.18%	0.55%	2.07%	86.51%	4.55%	0.11%	3.04%	0.03%	1.43%	0.16%	0.16%	34,606	
1409 県央	1.77%	2.10%	0.67%	0.50%	0.38%	0.44%	4.81%	1.49%	79.73%	5.04%	0.11%	0.10%	2.80%	0.07%	0.07%	47,281	
1410 相模原	1.33%	0.51%	0.22%	0.85%	0.12%		0.16%		3.30%	87.42%			6.01%	0.08%	0.08%	12,816	
1411 県西	0.32%	0.33%	0.34%	0.10%	0.36%	0.34%	0.45%	7.17%	0.69%	0.16%	82.29%		1.42%	6.01%	6.01%	26,009	
総計	74,799	80,776	72,724	22,204	52,424	56,138	41,678	33,547	44,186	31,706	22,752	778	20,196	159	2,008	556,075	

・53.9%の患者が入院医療を圏域内で完結している。流出超過。(H26から同傾向)

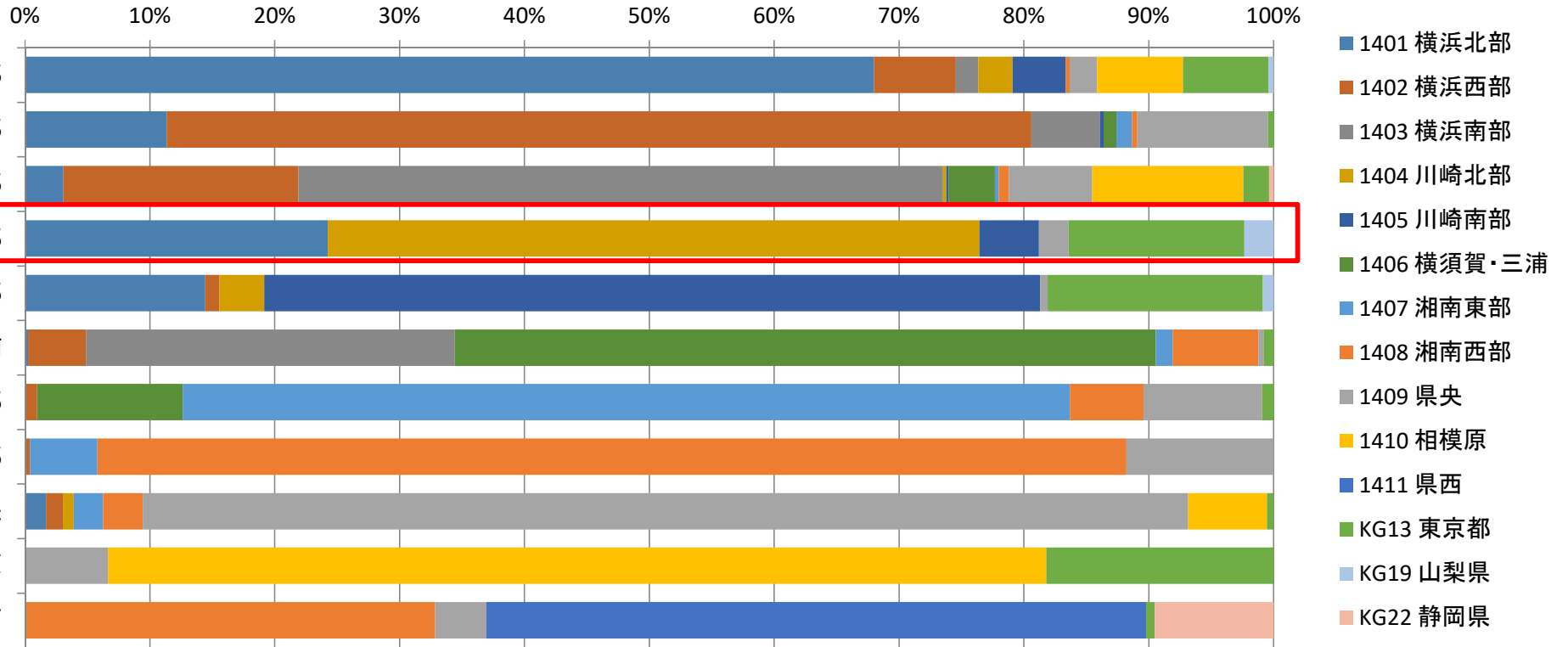
川崎北部における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:地域包括ケア病床入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名													
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	東京都	山梨県	総計
1401 横浜北部	69.10%	2.29%	1.34%	0.96%	5.67%					0.46%	15.62%	3.56%	1.02%	6,582
1402 横浜西部	12.08%	71.92%	6.92%		0.41%	0.41%	3.59%			2.51%			2.15%	3,899
1403 横浜南部	2.09%	15.77%	71.43%		0.33%	2.41%	1.40%			1.94%	3.64%		1.00%	5,218
1404 川崎北部	33.45%			42.83%	11.35%								12.37%	1,172
1405 川崎南部	15.27%			1.26%	80.79%								2.68%	1,827
1406 横須賀・三浦		1.00%	9.82%			84.24%	4.08%	0.29%					0.57%	3,503
1407 湘南東部		1.87%				4.02%	90.74%	1.91%	1.46%					2,462
1408 湘南西部							0.91%	91.06%	7.19%		0.84%			2,964
1409 県央	0.99%						7.55%	0.95%	88.96%	1.55%				2,518
1410 相模原									5.63%	92.72%		1.64%		852
1411 県西								46.37%			53.63%			647
総計	5,824	3,859	4,429	588	2,015	3,192	2,807	3,080	2,766	2,047	372	598	67	31,644

・42.8%の患者が入院医療を圏域内で完結している。流出超過。

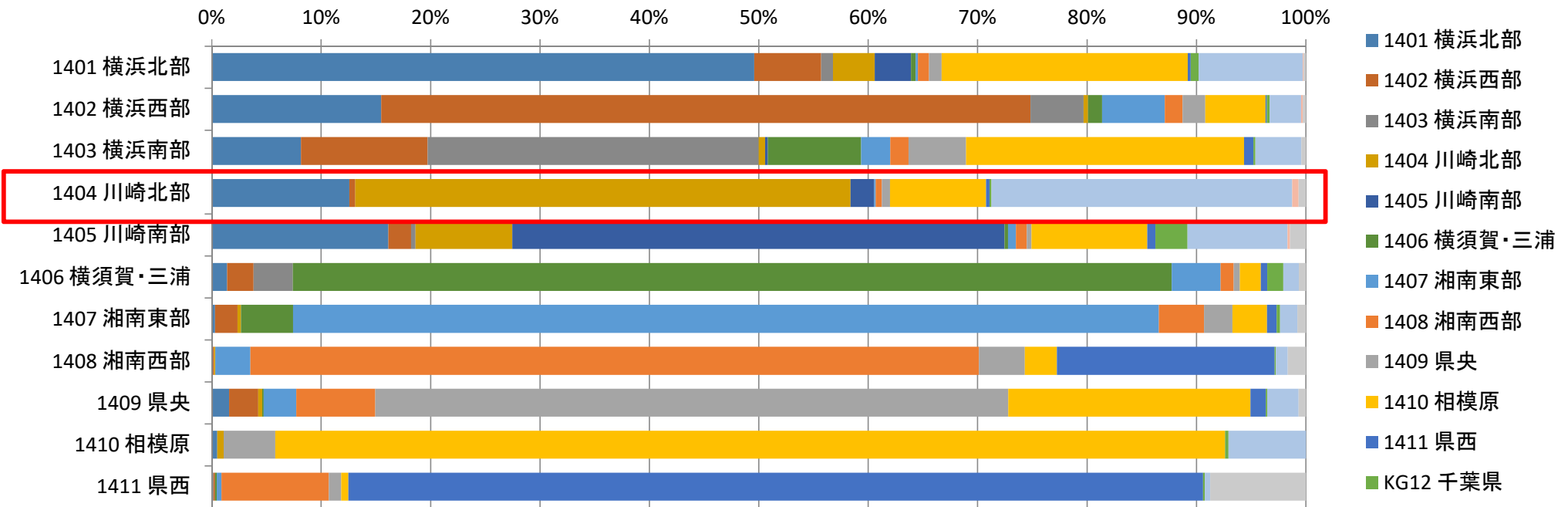
川崎北部における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:回復期リハビリテーション病床入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名														総計
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	東京都	山梨県	静岡県	総計
1401 横浜北部	68.00%	6.54%	1.81%	2.76%	4.26%			0.31%	2.19%	6.87%		6.85%	0.41%		6,085
1402 横浜西部	11.36%	69.26%	5.48%		0.29%	1.01%	1.23%	0.45%	10.46%				0.47%		5,767
1403 横浜南部	3.08%	18.84%	51.62%	0.25%	0.17%	3.74%	0.31%	0.80%	6.67%	12.09%				0.37%	7,119
1404 川崎北部	24.26%			52.18%	4.77%					2.38%		14.05%	2.35%		3,273
1405 川崎南部	14.44%	1.13%		3.58%	62.14%					0.60%		17.23%	0.87%		2,652
1406 横須賀・三浦	0.25%	4.64%	29.53%			56.12%	1.36%	6.87%	0.45%				0.78%		4,483
1407 湘南東部		0.96%				11.67%	71.07%	5.87%	9.50%				0.93%		3,222
1408 湘南西部		0.39%					5.40%	82.41%	11.80%						2,797
1409 県央	1.69%	1.36%		0.87%			2.34%	3.18%	83.71%	6.31%		0.54%			3,677
1410 相模原									6.66%	75.13%		18.21%			1,126
1411 県西								32.85%	4.14%		52.77%		0.71%	9.54%	1,982
総計	6,262	6,063	5,425	2,021	2,092	3,216	2,681	3,672	5,196	2,357	1,046	1,812	125	215	42,183

・52.2%の患者が入院医療を圏域内で完結し、24.3%が横浜北部に流出している。流出超過。(H26から同傾向)

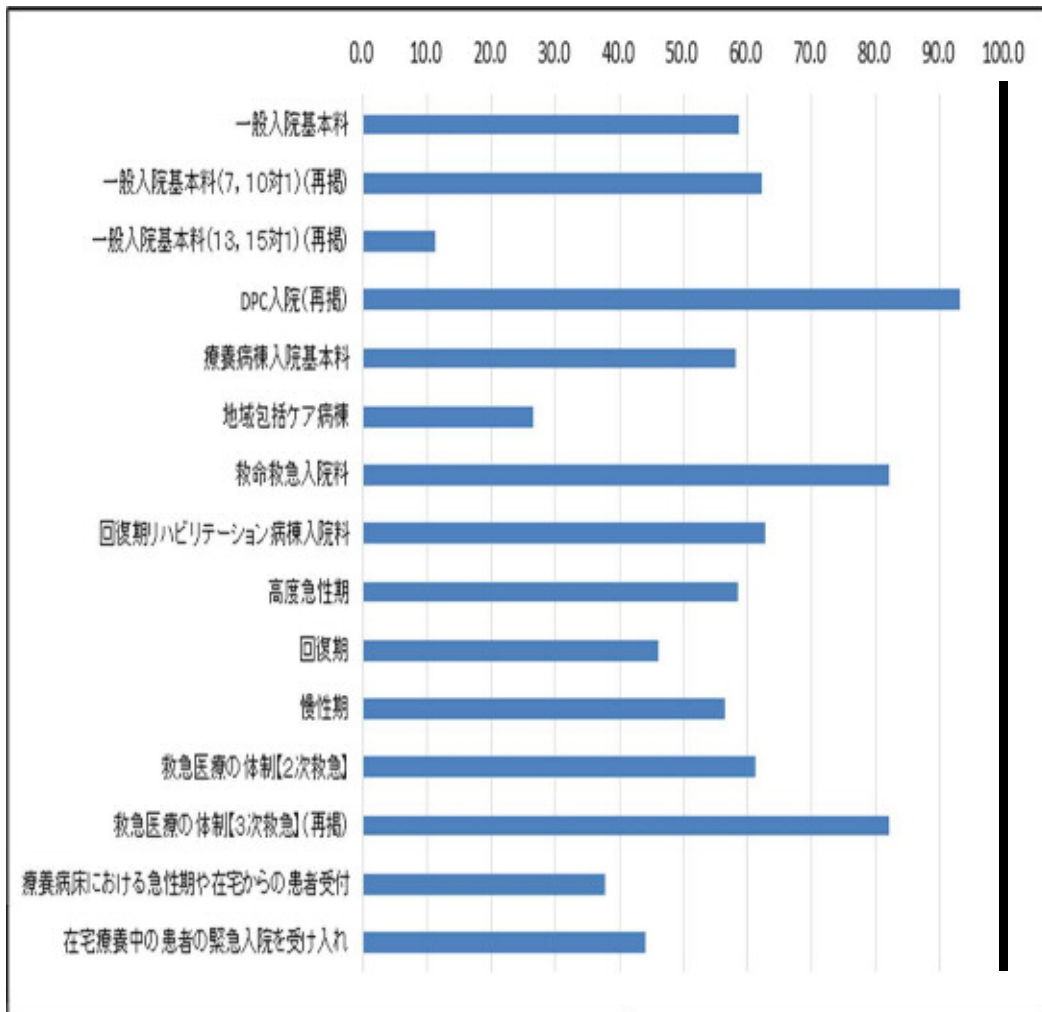
川崎北部における入院医療の自己完結率 (平成28年度NDBデータ:療養病床入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名																
負担者二次医療圏名	1401 横浜北部	1402 横浜西部	1403 横浜南部	1404 川崎北部	1405 川崎南部	1406 横須賀・三浦	1407 湘南東部	1408 湘南西部	1409 県央	1410 相模原	1411 県西	KG12 千葉県	KG13 東京都	KG19 山梨県	KG22 静岡県	総計	
1401 横浜北部	49.59%	6.12%	1.08%	3.82%	3.31%	0.42%	0.21%	1.02%	1.15%	22.47%	0.28%	0.72%	9.53%	0.07%	0.22%	14,649	
1402 横浜西部	15.50%	59.34%	4.85%	0.41%		1.28%	5.74%	1.59%	2.08%	5.49%	0.12%	0.27%	2.87%	0.14%	0.30%	9,740	
1403 横浜南部	8.17%	11.57%	30.25%	0.58%	0.26%	8.54%	2.66%	1.67%	5.24%	25.39%	0.87%	0.17%	4.21%		0.42%	12,661	
1404 川崎北部	12.57%	0.56%		45.26%	2.16%		0.13%	0.57%	0.75%	8.78%	0.31%	0.18%	27.45%	0.58%	0.69%	7,722	
1405 川崎南部	16.15%	2.09%	0.39%	8.85%	44.99%	0.32%	0.71%	1.00%	0.42%	10.59%	0.73%	2.92%	9.14%	0.22%	1.46%	5,884	
1406 横須賀・三浦	1.42%	2.42%	3.59%			80.31%	4.45%	1.19%	0.58%	1.92%	0.58%	1.46%	1.43%		0.65%	8,645	
1407 湘南東部	0.31%	2.04%		0.33%		4.76%	79.14%	4.10%	2.60%	3.17%	0.86%	0.31%	1.59%		0.78%	7,654	
1408 湘南西部		0.23%		0.11%			3.19%	66.59%	4.20%	2.94%	19.89%	0.11%	1.07%		1.67%	11,000	
1409 県央	1.59%	2.67%		0.35%		0.14%	2.97%	7.23%	57.86%	22.10%	1.41%	0.13%	2.87%		0.68%	9,029	
1410 相模原	0.52%			0.58%					4.73%	86.77%		0.32%	7.09%			3,469	
1411 県西	0.16%	0.16%				0.16%	0.41%	9.84%	1.11%	0.66%	78.11%	0.16%	0.48%		8.77%	7,564	
総計	12,050	8,951	4,793	4,778	3,332	8,619	8,071	9,757	7,301	14,129	8,569	536	5,772	82	1,277	98,017	

・45.3%の患者が入院医療を圏域内で完結し、27.5%が東京都に流出している。流出超過。

川崎北部における入院基本料関連の医療的行為に関する 年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)



中分類	指標名	区分	川崎北部
入院診療体制	一般入院基本料	入院	58.7
入院診療体制	一般入院基本料(7, 10対1)(再掲)	入院	62.3
入院診療体制	一般入院基本料(13, 15対1)(再掲)	入院	11.3
入院診療体制	DPC入院(再掲)	入院	93.1
入院診療体制	療養病棟入院基本料	入院	58.0
入院診療体制	地域包括ケア病棟	入院	26.6
特定入院料	救命救急入院料	入院	82.1
特定入院料	回復期リハビリテーション病棟入院料	入院	62.8
医療機能	高度急性期	入院	58.5
医療機能	回復期	入院	46.1
医療機能	慢性期	入院	56.5
救急	救急医療の体制【2次救急】	入院	61.3
救急	救急医療の体制【3次救急】(再掲)	入院	82.1
在宅体制	療養病床における急性期や在宅からの患者受付	入院	37.7
在宅体制	在宅療養中の患者の緊急入院を受け入れ	入院	44.0

・川崎北部地域は、近隣地域への患者流出が多いため、全国的に全国平均より低く出る傾向がある。

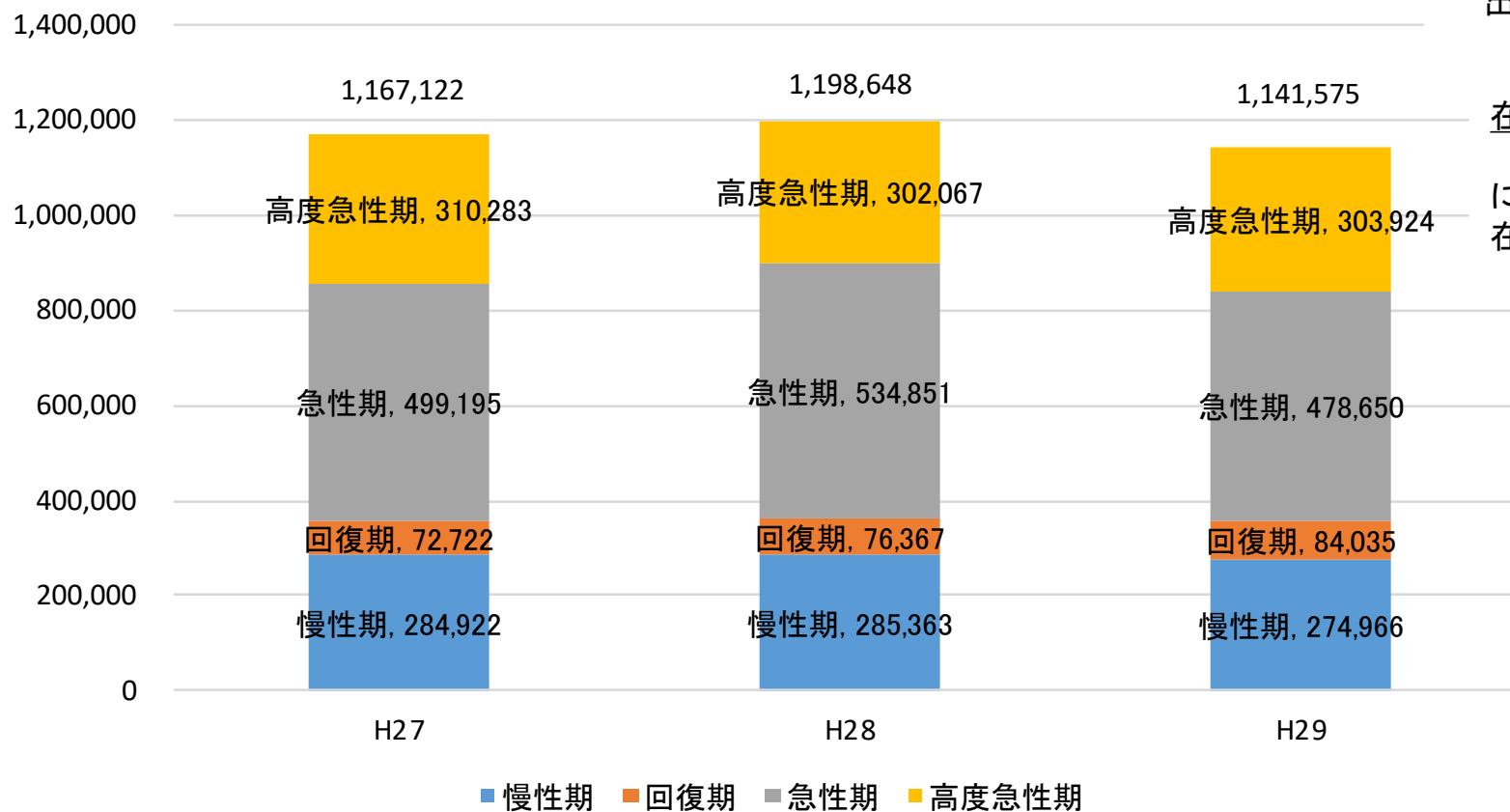
< SCRとは >

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

川崎北部 在棟患者延べ数

出典：病床機能報告

在棟患者延べ数・・・
7月1日～6月30日の1年間に毎日24時現在で当該病棟に在棟していた患者の延べ数

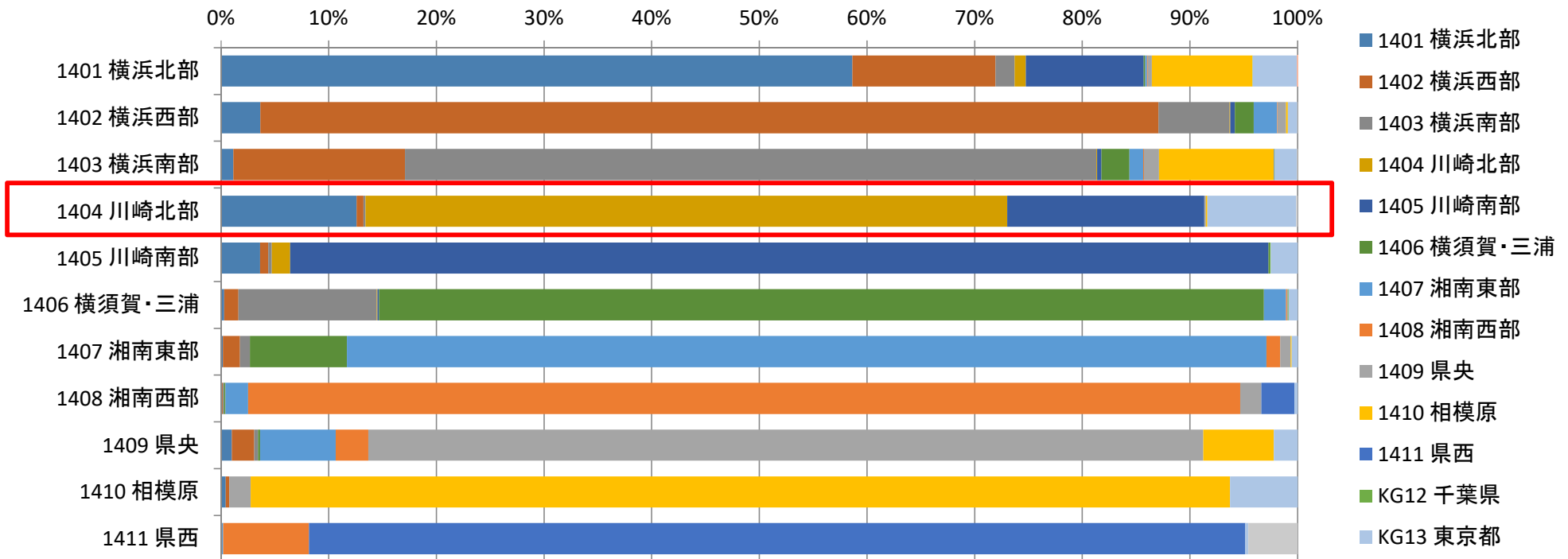


	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計	稼働病床数 (休棟中等除く)	病床数 (休棟中等)
H29	303,924	478,650	84,035	274,966	1,141,575	4,015	250
H28	302,067	534,851	76,367	285,363	1,198,648	3,989	276
H27	310,283	499,195	72,722	284,922	1,167,122	3,953	312

○回復期の患者数に増加傾向が見られる。

救急

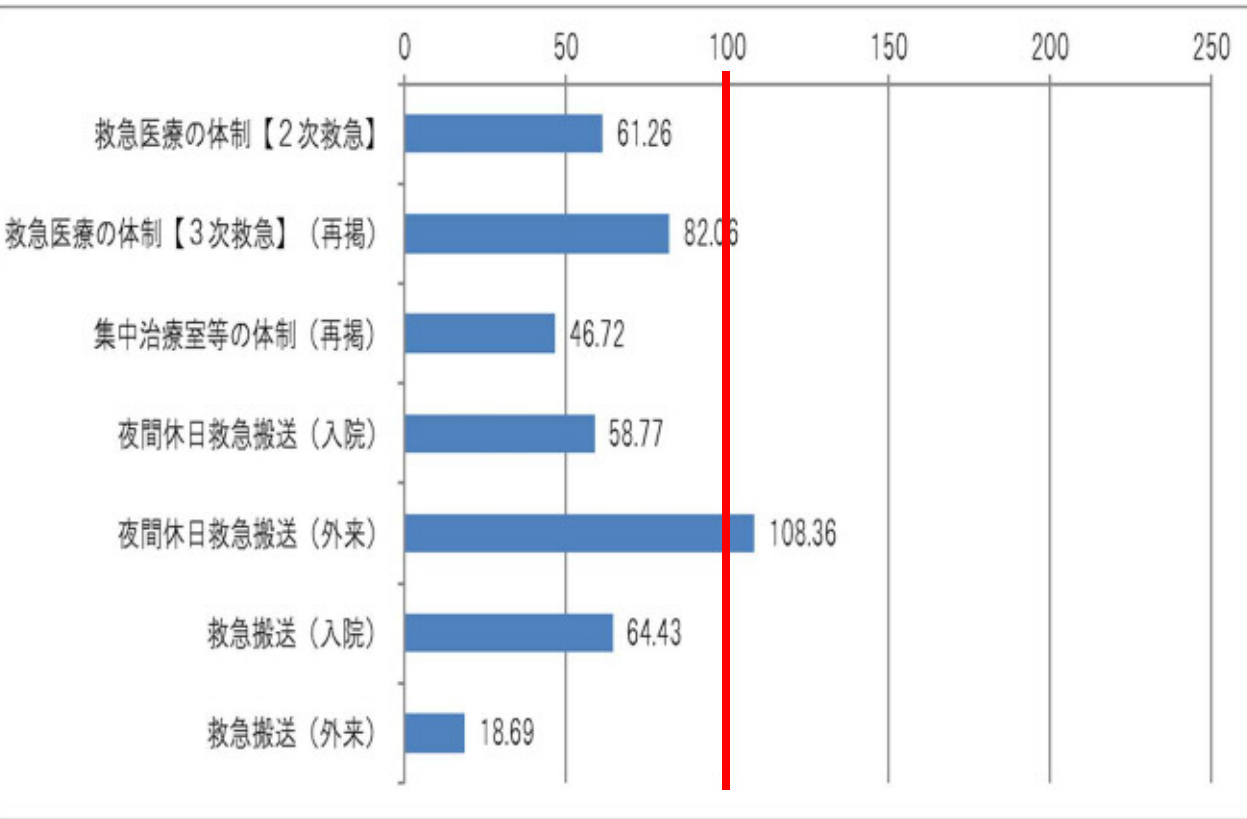
川崎北部における救急医療の自己完結率・二次救急(平成28年度NDBデータ:入院)



合計 / 総件数	医療機関二次医療圏名															
負担者二次医療圏名	横浜北部	横浜西部	横浜南部	川崎北部	川崎南部	横須賀・三浦	湘南東部	湘南西部	県央	相模原	県西	千葉県	東京都	山梨県	静岡県	総計
1401 横浜北部	58.65%	13.29%	1.77%	1.05%	10.95%	0.16%	0.15%	0.08%	0.36%	9.32%	0.04%	4.08%	0.10%			24,409
1402 横浜西部	3.66%	83.42%	6.59%	0.07%	0.41%	1.76%	2.14%	0.05%	0.80%	0.18%		0.87%		0.04%		26,361
1403 横浜南部	1.15%	15.93%	64.22%	0.09%	0.40%	2.59%	1.27%	0.07%	1.41%	10.64%	0.05%	0.04%	2.04%		0.09%	28,399
1404 川崎北部	12.61%	0.63%	0.19%	59.61%	18.28%					0.14%	0.14%			8.25%	0.14%	8,383
1405 川崎南部	3.64%	0.76%	0.32%	1.72%	90.84%	0.13%						0.09%	2.51%			10,969
1406 横須賀・三浦	0.29%	1.34%	12.84%	0.06%	0.14%	82.17%	2.08%	0.08%	0.08%			0.07%	0.86%			17,264
1407 湘南東部	0.18%	1.59%	0.91%			9.01%	85.40%	1.28%	0.96%	0.10%			0.56%			14,125
1408 湘南西部		0.16%	0.12%			0.15%	2.10%	92.13%	1.98%		3.07%		0.31%			9,461
1409 県央	1.02%	2.08%	0.36%			0.18%	7.03%	3.03%	77.54%	6.53%			2.23%			12,176
1410 相模原	0.45%	0.31%							1.99%	90.96%			6.28%			3,519
1411 県西							0.20%	7.97%			86.94%		0.29%		4.59%	5,530
総計	17,280	30,632	22,857	5,497	14,417	16,746	14,452	9,771	10,559	9,368	5,111	44	3,537	24	301	160,596

・59.6%の患者が圏域内で完結し、18.3%が川崎南部、12.6%が横浜北部に流出している。流出超過。

川崎北部における救急関連の医療的行為に関する
年齢調整標準化レセプト出現比(SCR)の比較(平成28年度NDBデータ)

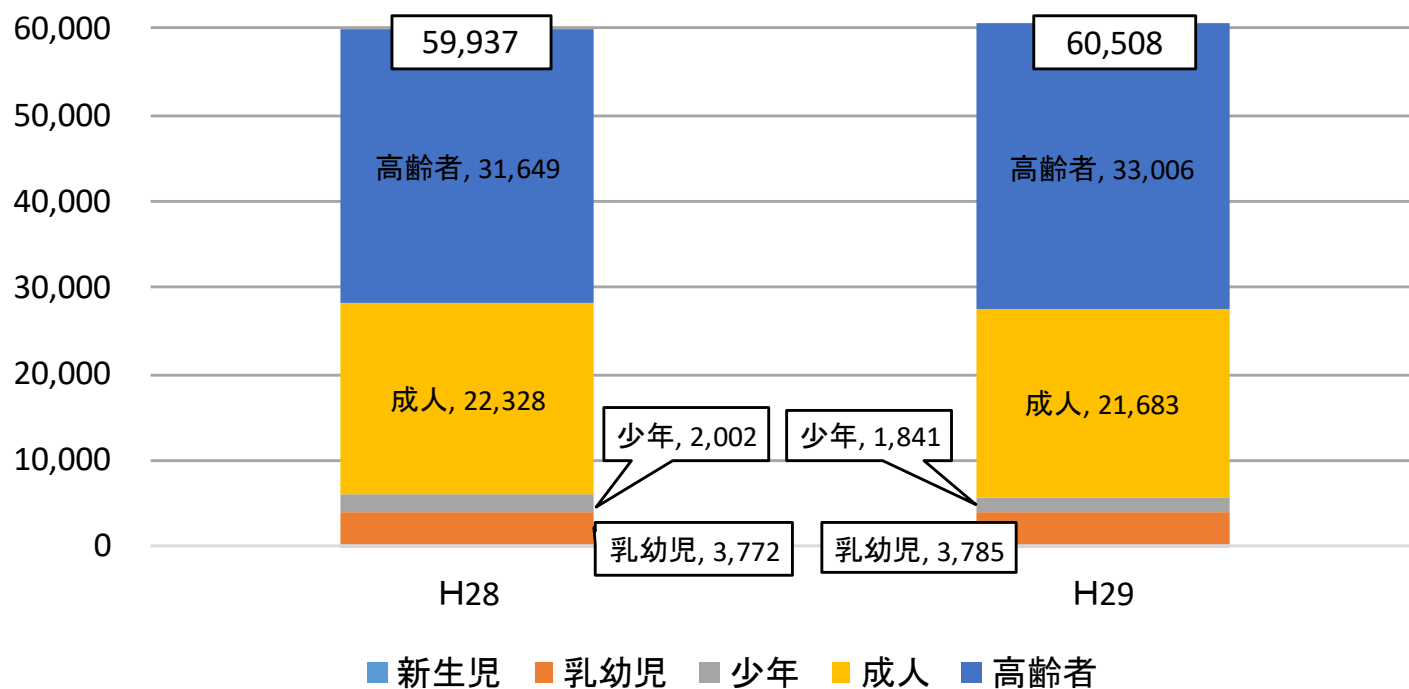


中分類	指標名	区分	川崎北部
救急	救急医療の体制【2次救急】	入院	61.26
救急	救急医療の体制【3次救急】(再掲)	入院	82.06
集中治療	集中治療室等の体制(再掲)	入院	46.72
救急搬送	夜間休日救急搬送(入院)	入院	58.77
救急搬送	夜間休日救急搬送(外来)	外来	108.36
救急搬送	救急搬送(入院)	入院	64.43
救急搬送	救急搬送(外来)	外来	18.69

<SCRとは>

- ・全国の年齢構成別の平均レセプト数に占める当該地域の年齢構成別のレセプト数(全国の平均像に対する比)
- ・ $SCR = \frac{\sum \text{年齢構成別レセプト数} \times 100}{\sum \text{年齢階級別人口} \times \text{全国の年齢構成別レセプト出現率}}$ (※年齢は、原則5歳刻みで計算)
- ・流出入がなければ、100よりも大きければ医療充実又は提供過剰、小さければ抑制的に提供又は提供過少を意味する(100は全国平均)

川崎市消防本部 年齢区分別 搬送人員数

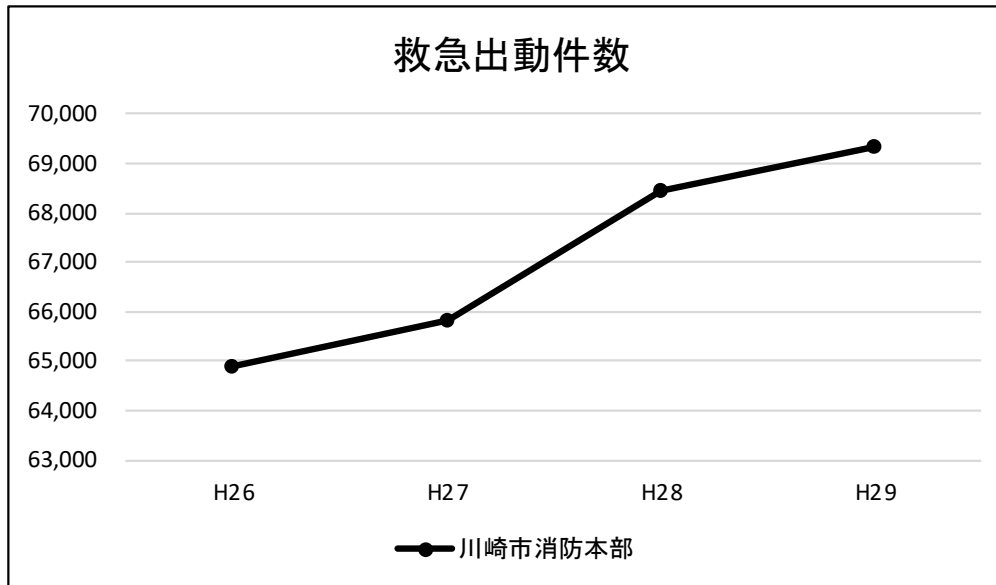


	H28	H29
新生児	186	193
乳幼児	3,772	3,785
少年	2,002	1,841
成人	22,328	21,683
高齢者	31,649	33,006
合計	59,937	60,508

出典：消防の現況調査

○新生児、乳幼児、高齢者の搬送人員が増加している。

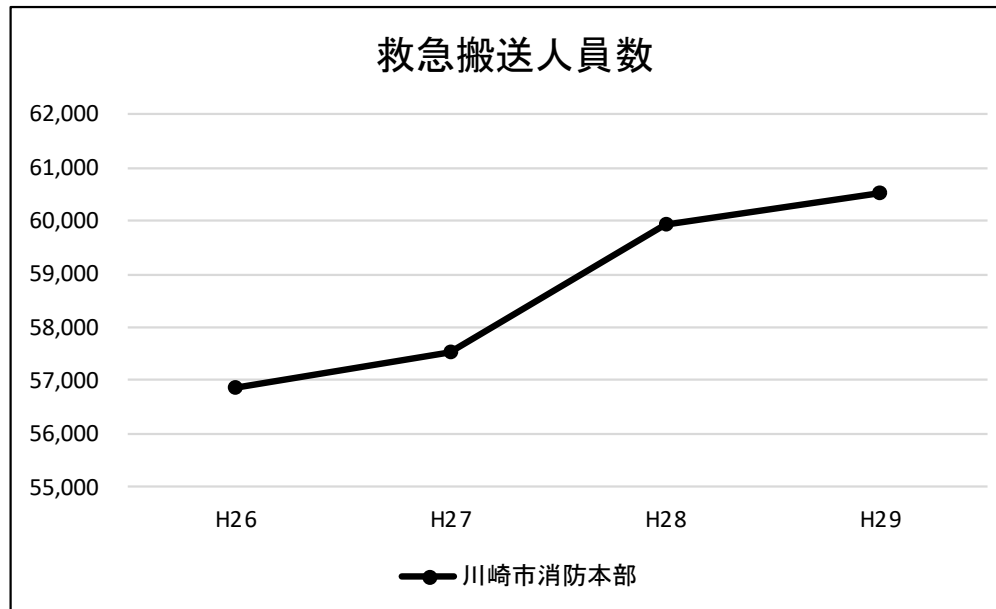
救急出動件数



救急出動件数

消防本部名	出動件数			
	H26	H27	H28	H29
川崎市消防本部	64,897	65,825	68,439	69,318

救急搬送人員数



救急搬送人員数

消防本部名	搬送人員数			
	H26	H27	H28	H29
川崎市消防本部	56,880	57,528	59,937	60,508

○救急出動件数、救急搬送人員ともに増加傾向にある。